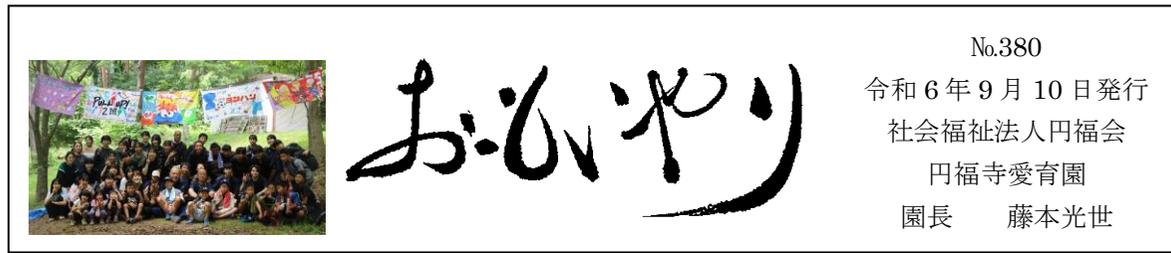


今年もキャンプ行事があり、おもいっきり楽しみました。



## 善き友、善き仲間、善き人々

園長 藤本光世

表題はお釈迦さまの言葉です。人は善き友、善き仲間、善き人々の集団の中で生活すると、自然と善くなろうとして、善くなるという意味です。お釈迦さまは、それが清浄行のすべてであると申されました。愛育園は16年もの時間をかけて善い友、善い仲間、善い人々の集団に変わってきました。それは、子どもたちの集団はもちろんですが子どもたちを支える職員集団もです。そして愛育園を支援してくださっている皆さまも、善き友、善き仲間、善き人々なのです。

善き友、善き仲間、善き人々に囲まれて生活すると、霧の中を歩いているときに自然と衣服に露が染み渡るように、当園に入所した子どもたちは自然と善くなろうとし、善くなるのです。子どもが子どもから善い影響を受けるような、子ども集団をつくろう。それが、円福寺愛育園の集団生活の願いなのです。夏休みのたくさんの行事や、先生方の努力もその目標に向かってのものです。子どもの喜びを吾が喜びとして頑張ってくれている職員に敬意を表します。

逆に、悪き友、悪き仲間、悪き人々に囲まれたらどうでしょう。きっと、一時的にはあははおほほと面白おかしく、快樂や享樂に浸り、あるいは人をいじめたり不幸に落として我欲や煩惱を満たしたり、暴言を吐き暴力を使って人を自分の思い通りにしても、いつかは取り返しがないところまで行ってしまい、気が付いたときは悩み苦しみ、どうしようもなくなっているのです。これは、さまざまな事件から伝わってくることであり、お釈迦さまがお示しになっていることでもあります。

戦後の社会的養護を担ってきた日本の児童養護施設は、今、どうなっているのでしょうか。

私がこの仕事に入った16年前の円福寺愛育園は、残念なことに「悪い友、悪い仲間、悪い人々」の集団でした。入所した子どもたちはそれに染まって悪くなってしまうのです。職員も「悪い友、悪い仲間、悪い人々」でした。だって、6月に8人もの職員が、子どものことや残った職員のことなど考えずに、本当かどうかわからないような病気を理由に集団欠勤してしまうのですから。欠勤した職員は、こども・家庭課、児相、児童福祉施設連盟に泣きついて、それを受けた連盟の

会長が私たち経営者に事情を説明するように迫ってきたのです。いったい、連盟に社会福祉法人の経営に容喙する権利があるのでしょうか。まったく納得できないことばかりでした。今思うと、そのころの私は、私が飛び込んだ児童福祉施設の「悪い友、悪い仲間、悪い人々」と必死になって闘っていたのです。

当時の園長が心労から体調を崩してしまったので、7月に松本の梓会館で開かれた施設長会に97歳の年老いた父を連れて出席しました。父は児童福祉施設連盟の創設者の一人ですから、連盟の会長はじめ三役は敬意を表し、愛育園への風当たりも少しは和らぐのではないかと、淡い期待を持ったのですが、それはありませんでした。父は私の横の末席に座らされて、事情も分からないままに連盟発足当時の話をただけでした。父には申し訳ないことをしました。

施設長会では連盟庶務が、欠勤職員が会長あてに書いた手紙を読み上げました。私はそれを聞いて「こんな理路整然とした手紙を書けるということは、その職員が仮病を使っているか医者が誤診をしたということだ」と反論し、その後の議論はどうなったか、二三のやり取りの後、閉会になりました。まったく無意味な会議でした。

あの頃、長野県の他の施設はどうだったのでしょうか。私は、こんなに混乱しているのは、円福寺愛育園だけだと思っていました。だから、児童福祉施設連盟は円福寺愛育園の困難に職員を派遣するなど、手を差し伸べるべきだとも発言したのです。今思うと、それはまったく間違っていました。きっと、そんな余裕はどの施設もなかったし、荒れた他の施設に入っても面識のない子どもをどうすることもできないし、施設の養育方針も違うし、無理なことでした。私は全く分かっていなかったのです。

今振り返ると、他施設も似たか寄ったかだったのではないかと思います。だから、家庭的養護という国の方針が出るとこぞって小舎制に移行したのかなあとと思います。そう考える理由を書きましょう。

1. 愛育園はいつから荒れていたのだろうか調べてみました。すると、ずーっとだったのです。平成3年ごろには、大きな事件が続発していました。創立50年誌に父の苦勞が書かれています。
2. 他施設は養育事実を公開しません。
3. 他施設は、国際箸学会が支援し進めている箸技大会を開催できません。
4. 先日のパーマネンシー保障研修会で紹介された事例1の福岡市の児童養護施設は、子どもを善くできないことが日常的で当たり前のよう書かれていました。

子育ては養育形態ではないと思います。「善い友、善い仲間、善い人々」に囲まれた子どもたちが、自ら「善い友、善い仲間、善い人々」になろうと努力することが、「幸せ」への一歩となるでしょう。

子どもたちのためにも、養育の公開と議論が最も求められているのではないのでしょうか。「子どもの最善の利益」「こども真ん中プラン」は、子どもの「幸せ」を目的としてこそ、手段です。目的と手段を混同してはいけません。繰り返しになりますが、何よりも必要なのは養育を開くことです。公開することです。里親さんも、小舎制も、小規模グループホームも、ぜひとも養育の事実を公開して「善き友、善き仲間、善き人々」になり、手を携えて進みましょう。

## 愛育園キャンプ

主任指導員 T.M

長かった夏休みが終わり、2学期がスタートして3週間ほど経過しました。やや切り替えが難しいのでは？とってしまう程、たくさん遊び、充実した夏休みを過ごす事ができました。

中でも愛育園キャンプは、年間を通して大きな行事の一つで、今年も準備や計画に力を入れ最高のキャンプ行事にする事ができました。

愛育園キャンプに込める想いは、ただ一つ「子ども達が心底楽しめる」これだけです。もちろん、たくさんお手伝いをしたり、いろんな場面で一致団結したりといった協調性を育む事や、自然体験や、子ども達と職員の関係性を深めるといった事、そういう事も目的ではありません。でも私たちは、それより何より、子ども達が心のリミッター外して目的も何も考えず、つい自分を開放しちゃうくらい楽しいキャンプを目指しています。

なぜそのように思うかというと、愛育園の子たちが毎日の生活を一生懸命に送っている事を私たち職員は知っているからです。子ども達は普段の生活では、逆にしっかり心にリミッターを設けて、規則正しい生活を大事にして、落ち着いた学校生活を送り、その中では、不意に不安になったり、迷いや憂いが生じる事も多々ありますが、それでも気持ちの糸が切れない様に懸命に毎日を過ごしています。私たち職員はそんな子ども達にいつもスペクトの気持ちを持っています。だって、私たち職員は、そんな地道な毎日の積み重ねがやがて自立につながって大きな幸せになる事を卒園後の子ども達の様子などを見て

知っていますが、子ども達はそんな先のイメージなんて湧かないはずなのに、ただ私たちの事や私たちの言う事を信じて毎日の生活を頑張っているのですから、それが如何にすごい事か？自分なら同じようにできるか？と思うと自然と尊敬の念が湧いてきます。

だからこそ、キャンプでは日頃溜め込んだものを思いっきり発散させたいと先生方が趣向を凝らして計画を練ってくれます。今年



もレクや食事、開村式のオープニング、歌など、些細な所までより楽しめる様にアイデアを考えてくれて、とっても盛り上がりました。

私は毎年キャンプファイヤーを担当していますが、静かに火を囲んでちょっとしたレクをやる。なんてことはしません。大声で歌って、踊って、はしゃいで、また踊って、本当に最高の時間です。盛り上げのほとんどを子ども達自身がやってくれることも、自分達から楽しみにいってくれる感じがして、とても嬉しいです。私は楽しくて嬉しくて、その後、就寝時間になって布団に入っても余韻で全然眠れませんでした。そんなキャンプをもう3年くらいやっています。3年前には、中々自分を開放する事が上手じゃなかった子も、今ではすっかり盛り上がりに加わったり、集団だからこそ安心して自分を出せる環境や雰囲気がある事も素晴らしい事だと私は思います。

また、自分をさらけ出すという事は環境や雰囲気も大事ですが、自分に自信が持てていないと躊躇しちゃってできない事がありますが、キャンプファイヤーの中で思いきり歌って踊ってができるというのは、普段の生活の中で自分に自信がついている証拠なので、それを思うと更に更に嬉しさと喜びが増します。そして、それは子ども達に限らず、自分をさらけ出し、子ども達と心を開き合っけて時間を共有してくれていた先生達ばかりで、それもまた素晴らしい事だと思います。

2学期が始まり、また普段の生活の積み重ねが始まっていますが、楽しかったキャンプの思い出が、日々のモチベーションになってくれていけば嬉しくと思いますし、先月号にも書かせて頂きましたが、こういった楽しかった行事や遊びの記憶が大人になった時の心の支えになってくれれば、更に嬉しいです。

さて「心底楽しむ」キャンプの次は、「全力を出し切る(出し惜しみしない)」運動会です。9月22日の第9回愛育園大運動会に向けて、既に練習が始動していますが、運動会は赤組・白組の本気の戦いがポイントです。白組大将の私は、子ども達と作戦を練って一致団結して、今年も赤組に勝ちたいと思います。

## 愛育園キャンプ

あおぞらホーム Y・S

8月9日、10日に愛育園ではキャンプがありました。今年のキャンプは自分が主担当で進めてきましたがふたを開けてみれば準備不足が露呈して色々な先生方に迷惑をかけてしまう結果になってしまいました。振り返ってみれば他の行事では、子供たちが「楽しみにしている」という気持ちを大切に自分自身も楽しみながら盛り上げていけるようにしてきたのに今回のキャ

ンプではその気持ちを置き去りにしてしまいました。その結果失敗してしまった。と、いまだに反省しています。結果的には子どもたち自身のパワーに助けってもらい無事に終わる事が出来ましたが、子どもたちにも申し訳ない気持ちでいっぱいです。今回のキャンプは自分自身本当に色々な学びがあったし、自分の弱い所にも気づかされました。

今後もまだまだ色々な行事は続いていきます、キャンプの反省をもとにもう一度初心に帰って取り組んでいきたいと思っています。



### 愛育園キャンプ

あおぞらホーム S・S

8月9、10日の二日間、愛育園キャンプに行ってきました。昨年と同様に小田切錬成センターをお借りして行いました。自分は今回で7回目の参加となりましたが、今年も初めて参加する子が多く、その中で初めての子も今まで何度か参加している子も改めてとてもキャンプを楽しみにしていることをとても感じました。特にキャンプの醍醐味の食事づくりでは、それぞれが自分の役割を全うしようと頑張ったり楽しんでいることを感じました。今年は2班で参加させてもらい、子供と一緒に火起こし、飯盒炊飯、そして火を使って行う調理を行いました。まごころで食材を用意してもらい、「自分調理したいです」と積極的に話していた初めて参加の中学生R君中心で一緒に特大ハンバーグや、チーズたっぷりのチャーハンなど、色々と調理しました。また、デザートにはプッシュタワーを作ってもらいました。品数は少し抑えめながらも、量はそれなりにあったので完食できるか少し心配もありましたが、特にR君がおいしいと何度もおかわりをしてくれ、全て食べることができました。普段の生活では満腹行けるまでなかなか食べれないと思いますので、見ていて協力して作って本当によかったと思いました。



1日目レクではたくさんゲームをしたり、キャンプファイヤーでは盛り上げをT先生と子どもたちが大いに盛り上げてくれ、とても良い2日間を過ごすことができました。自分としてはキャンプのスタートを切る開村式を任されていたのですが、子どもたちがいたから何とかやれた部分と、他の楽しいイベントに助けられた部分がとても今回の反省材料となったと思い、次の大きな行事は園全体での勝負の運動会となるので、園全体がどうしたら盛り上がって行事に取り組

めるか、よく考えて次の1カ月を整えていきたいなと思います。

### 愛育園キャンプ

まごころ保育士 T・S

8月9日、10日でキャンプに行きました。私の班は高2のRさんが班長で、班が発表された時から班名やごはんをどうするかなどワクワクしながら話をしていました。Rさんはバイトを始めたところで、班旗づくりやミーティングなど参加できない分しっかりアイデアを出してくれて、楽しみにしている様子が伝わってうれしかったです。班旗づくりのために下書きをするのは小5のRさんも手伝ってくれました。声をかけと「やる！」ととても前向きに返事をしてくれました。あおぞらの中学生Hくん、Kくんもミーティングや班旗づくりで控えめながらも協力的で、当日のご飯づくりではお願いしたことを楽しそうに取り組んでくれて、常に穏やかで楽しい雰囲気の中過ごすことができました。私自身も子どもたちと一緒に準備から当日まで自然と楽しんでおり、とてもいい時間を過ごせたなと思っています。また、キャンプファイヤーで、小学生が点火のところで演出に参加したり、まごころの高校生たちが特別に衣装もそろえてダンスをリードしたり、たくさん子どもたちが役割をもらって積極的に参加できていることがとても印象的でした。いつもと違う姿をたくさん見られたので2日間いい思い出ができました。

### 愛育園キャンプ

まごころホーム T・M

夏休みの大きな行事となる愛育園キャンプが今年も行われました。班旗作りや買い出しなどキャンプの前からたくさん準備をして、子どもたちと一緒に楽しみにしていました。特にまごころホームは初めて参加する子が多く、どんな行事なのだろうとワクワクしていました。そして当日、キャンプ場へ移動し開村式が行われました。開村式では、一人ひとり意気込みを発表していききました。それぞれ色んな意気込みがあり、聞いて面白かったです。そして一日目は、全体のレクと、夕ご飯づくり、キャンプファイヤーがありました。中でも私が印象に残ったのがキャンプファイヤーです。キャンプファイヤー係の盛り上げ隊の子たちが先導して、たくさん盛り上げてくれました。中でもまごころの高校生のジャンボリーミッキーのダンスはとても盛り上がりました。普段踊りのイメージがあまりない子もみんなですごく上手に踊っていて感動しました。全



員が楽しめたキャンプファイヤーになりました。二日目は、朝食づくりとグループ別での活動がありました。班ごとの朝食づくりは、子ども達がたくさんお手伝いをしてくれました。班が一緒だったFちゃん(年中)は、「何かすることある？」と色んな先生方に聞きまわって、具材を並べたり、一緒に切ったりしてくれました。自分で作ったものはより美味しく感じたようで、美味しいと言いながらたくさん食べてくれました。キャンプを通して子どもたちの色んな一面を見ることができ、嬉しかったです。行事でしか見られない心から楽しむ姿を何度も見ることができました。子どもたちにとっても、私自身にとっても思い出に残るキャンプになりました。

### 愛育園キャンプ児童感想 あおぞら児童

8月9、10日にキャンプに行きました。1日目にレクをやり、一人一文字ゲームは問題が少し難しかったけど、とても面白かったです。そのあとは夕飯づくりをしました。いっぱいお手伝いをして、そうめんやピザなどいろいろなものを作って食べました。とてもおいしかったです。夜はキャンプファイヤーをしました。キャンプファイヤー



ーヲ囲んでやったCCレモンや猛獣狩りなどのゲームがとても面白かったです。2日目はグループ別行動がありました。UVレジンを使った工作がとても面白かったです。今年のキャンプも2日間とても楽しく、来年もまたキャンプに行きたいです。

8月9、10日に今年もキャンプに行きました。荷物の積み込みから始まり、愛育園前で出発式を行いました。今年のキャンプ場も長野市内にある錬成センターへバスに乗って行きました。到着してからは荷物を下ろしました。とても大変でしたが、みんなで協力して荷物を下ろしたのであつという間に終わることができました。そのあとは開村式を行い、毎年みんなを盛り上げてくれるガス

(小5 Yくん)

トが今年も来てくれました。今年は自分が初めてゲスト役として、みんなを盛り上げたので少し緊張もありましたがとても楽しかったです。次はグループごとに分かれてレクをしました。一人一文字ゲームをしたり、この声は誰でしょうゲームをしたり、ジェスチャーゲームをしたりとても楽しかったです。夕食づくりでは、僕たちの班ではキムタクチャーハンと肉がいっぱいチャーハンの2種類を作ったり、はんぺんのチーズ焼きを作ったりと色々ご飯を作りました。みんなで協力して作ったご飯はとてもおいしかったです。夕食の後はキャンプファイヤーをしました。毎年やっていますが、猛獣狩りやCCレモンがとても楽しかったです。2日目は班別行動をしました。僕は消しゴムハンコを作る班で、自分でデザインしたアニメの絵を消しゴムに描き、描いた部分を掘りました。時間がかかったけどできたときはとてもうれしかったです。今年の愛育園キャンプも楽しかったです。また来年も楽しみにしています。

トが今年も来てくれました。今年は自分が初めてゲスト役として、みんなを盛り上げたので少し緊張もありましたがとても楽しかったです。次はグループごとに分かれてレクをしました。一人一文字ゲームをしたり、この声は誰でしょうゲームをしたり、ジェスチャーゲームをしたりとても楽しかったです。夕食づくりでは、僕たちの班ではキムタクチャーハンと肉がいっぱいチャーハンの2種類を作ったり、はんぺんのチーズ焼きを作ったりと色々ご飯を作りました。みんなで協力して作ったご飯はとてもおいしかったです。夕食の後はキャンプファイヤーをしました。毎年やっていますが、猛獣狩りやCCレモンがとても楽しかったです。2日目は班別行動をしました。僕は消しゴムハンコを作る班で、自分でデザインしたアニメの絵を消しゴムに描き、描いた部分を掘りました。時間がかかったけどできたときはとてもうれしかったです。今年の愛育園キャンプも楽しかったです。また来年も楽しみにしています。

(中3 Kくん)

長野市青少年錬成センターに行きました。お昼はカレーうどんを食べました。お昼を食べた後、全体レクをやりました。色変えゲームや誰の声でしょうゲーム、一人一文字ゲームなどをやりました。誰の声でしょうゲームでは、私がやることになりましたが、いつも通りの声ですぐ当てられてしまい、恥ずかしかったです。でも楽しんで出来たので良かったです。全体レクの後、班のみんなで夕食作りをしました。2班はチャーハンと巨大ハンバーグと生ハムサラダを作りました。また、デザートはプチシュータワーを作りました。どれもおいしくきれいに出来たので良かったです。2日目の朝食はご飯とうどんとチョコバナナサンドをやりました。あと、マシュマロを焼いて、とてもおいしかったです。また、私は初めて卵焼きを作ってみました。I先生に教えてもらいながらやりました。とても甘い卵焼きができて良かったです。そのあとのグループ別活動では、UVレジンと写真立てを作りました。グラデーションできれいに出来たので良かったです。帰ってきてからの片付けも大変だったけどみんなで協力して片付けられました。普段からもやった後の片付けはしっかりやるようにしていきたい



### 愛育園キャンプ児童感想 まごころ児童

長野市青少年錬成センターに行きました。お昼はカレーうどんを食べました。お昼を食べた後、全体レクをやりました。色変えゲームや誰の声でしょうゲーム、一人一文字ゲームなどをやりました。誰の声でしょうゲームでは、私がやることになりましたが、いつも通りの声ですぐ当てられてしまい、恥ずかしかったです。でも楽しんで出来たので良かったです。全体レクの後、班のみんなで夕食作りをしました。2班はチャーハンと巨大ハンバーグと生ハムサラダを作りました。また、デザートはプチシュータワーを作りました。どれもおいしくきれいに出来たので良かったです。2日目の朝食はご飯とうどんとチョコバナナサンドをやりました。あと、マシュマロを焼いて、とてもおいしかったです。また、私は初めて卵焼きを作ってみました。I先生に教えてもらいながらやりました。とても甘い卵焼きができて良かったです。そのあとのグループ別活動では、UVレジンと写真立てを作りました。グラデーションできれいに出来たので良かったです。帰ってきてからの片付けも大変だったけどみんなで協力して片付けられました。普段からもやった後の片付けはしっかりやるようにしていきたい



普段からもやった後の片付けはしっかりやるようにしていきたい



です。

(中1 Hさん)

### 最高に楽しかったキャンプ



今年も去年と同様、長野市青少年錬成センターに行かせてもらい、1泊2日を過ごしました。今年は4班でした。班名は『名探偵ヨンハン』でした。私の今年のキャンプでの目標は、班のみんなと協力しておいしいご飯を作ることと、何と言ってもキャンプファイアーを全力で盛り上げるようにしたかったことです。レクをやり、夕食づくりをしました。私たちの班は、ピザ4種類と、シーザーサラダ、パンの耳のかりんとう、スモア、ナスとキャベツ、きゅうりの漬物でした。漬け物を前日から漬けておいたので、味がしっかりついていてよかったと思いました。みんなで時間をかけて生地を作った甲斐があってとてもおいしかったです。男の子たちがたくさん食べてくれたおかげで残食ゼロ！

この後には、一番楽しみにしていたキャンプファイヤー！今年もジャンボリミッキーを踊りましたが、まごころ高校生だけアレンジをしました。その提案をしてくれたのはT先生で、初めはみんなで踊る予定ではなかったのですが、前日にみんなでやることになりました。練習していました。3日前から練習出来たのもT先生がいてくれたからだと思っています。また、ミッキーTシャツも本当に買ってくれるとは思ってなくて、うれしかったです。ありがとうございます。本番のキャンプファイヤーでは、ずっとドキドキ！ミッキーTシャツを着て、カチューシャを持って準備OK！ジャンボリミッキーが流れたらミッキーガールズ全員で火の前に行き、ダンスを踊る！緊張しながらもフォーメーションを組んで練習通り踊って良かったです。アンコールも踊って、1回目より楽しく激しく盛り上げながら最高のダンスを披露することができて良かったです。みんな本当にありがとう！T先生も夜遅くまで一緒にいてくれてありがとうございます。花火も楽しかったです。

2日目の朝食は、サンドイッチとサラダ、うさぎりんご、コーンスープ、漬け物、フルーチェでした。りんごを使って、うさぎさんを初めて作ってみました。O先生に教えてもらいながらやりましたが、少し難しかったです。グループ別活動では、卵の殻を使った写真立てと、UVレジンでキーホルダーを作りました。写真立てには『キャンプの一押し写真を入れる』とのことなので、私は絶対にミッキーガールズにしたいと思っています。とっても思い出に残った2日間にできて

良かったです。キャンプファイヤーで、いつもより何百倍も盛り上がって良かったです。また、ジャンボリミッキーのダンスでは、T先生のおかげでここまでくる事ができたので良かったです。キャンプファイヤーが最高の思い出になりました。今年も錬成センターで1泊2日を過ごせてうれしかったです。準備から片付けまでみんなで協力しながらできました。ミッキーガールズまじ最高すぎだぜ！

(高1 Mさん)

### あおぞらホームだより

あおぞらホーム M・N

少しずつ暑さが和らぎ、秋の訪れを感じる空気になりました。

長い夏休みが終わり、学期の中でも一番長い二学期に突入しました。約一カ月近くあった夏休みでしたが、あおぞらホームではプールへ行ったりキャンプをしたりみんなでお寺にお泊まりを



したりと子どもたちにとって充実した休みになったのではと思います。まだ休みモードが抜けない子もいるかと思いますが、二学期は様々な行事を控えておりそれに向けて準備していこうという気持ちを子どもたちから感じます。

園でも9月には運動会があり少しずつ準備を進めています。子どもも職員も全力で、「楽しかった！頑張った！」と思える行事を作れたらと思います。

ます。

### まごころホームだより

まごころホーム K・S

暑い日がまだまだ続きますが、まごころホームの子どもたちは元気に過ごしています。8月に入って、園ではキャンプ行事やホーム行事を行い、普段見ることのできない子どもたちの協力する姿や思いきり楽しむ姿を見ることができました。また、行事だけでなく夏休み中の課題や今後のテストに向けて一生懸命学習に取り組む姿もあり、一人ひとりがメリハリをもって充実した夏休みを過ごせたと



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和6年9月10日発行 月刊「円福」528号付録)

思います。そして8月下旬には夏休みも終わり、いよいよ二期が始まりました。いつもの日常に戻り、子どもたちがまた元気で学校に登校できることを嬉しく思います。来月も行事があるので、気を引き締めて取り組んでいきたいです。

## 調理室だより

調理員 M・C

とても暑い毎日が続いています。

長い夏休みも終わりを迎えましたが、子供たちは映画やボーリングに出かけるなど気分転換をしながら楽しく過ごしたようです。

園での8月の一大イベントはキャンプでした。各班で作成した班旗を掲げ、協力し合いながら手料理を作る姿はとても頼もしく、同時に心温まる様子でした。

またひとつ、子供たちの成長した姿を見た思いがしました。

### 8月13日(火) 迎え盆メニュー

- ・そうめん
- ・天ぷら



### 8月16日(金) 送り盆メニュー

- ・かき揚げ天井
- ・花魁のすまし汁
- ・きゅうりの漬物

### 8月31日(土) Y君 お誕生日メニュー

- ・豚の生姜焼き丼
- ・チョコグレサラダ
- ・スーパーサイダーゼリー

